

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		戸籍関連事務				担当課	市民課	担当係	戸籍係	管理番号	16311
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち				事業区分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務			
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり				根拠法令 個別計画等	戸籍法、戸籍法施行規則、民法、国籍法、さいたま地方 法務局戸籍事務取扱準則、人口動態調査令、人口動態調 査令施行規則、後見登記等に関する省令			
	小項目	4	行財政運営の推進								
	主要プロジェクト										
事業概要		主に戸籍法等の規定に基づき、各種戸籍届出により、これを審査し、戸籍を記録し、戸籍簿等を適正に管理する。そのほか人口動態調査票を作成し、厚生労働省への報告を行う。また、成年被後見人等について身分証明事務の資料となる民刑事項名簿の作成等を行う。 平成29年度事務事業評価より人口動態調査事務及び民刑事項名簿事務を統合した。									
目的 ※何のために		戸籍を適正に調製するものである。									
対象 ※誰・何を対象に		市民の方 戸籍記録者									
手段 ※どのように		戸籍に記録又は消除する。									
成果 ※何を求めるか		届出に対し、適正に戸籍を調製する。									
執行体制		☒ 職員 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()									
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)			
本事業の 主な業務		・ 戸籍届書、申請書等の受付処理					・				
		・ 戸籍の記録					・				
		・ 戸籍等のデータ管理					・				
		・ 戸籍に関する簿冊等の保管					・				
		・ 人口動態統計調査票作成					・				
		・ 民刑事項名簿の作成、保管、閉鎖					・				

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画					戸籍総合システムリプレイス		
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
人件費	従事職員数(人)	7.42	6.52	7.42	8.89	7.26	
	人件費相当試算※	58,392,113	52,226,276	61,009,029	75,361,366	63,949,630	
	総事業費試算	58,392,113	52,226,276	61,009,029	75,361,366	63,949,630	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	戸籍の届出処理件数	目標値	件							
		実績値		5,801.00	5,866.00	6,076.00	6,012.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値を算出する性質のものでないため設定していない / 事件表							
	実績値の算出式									
活動指標 2	人口動態統計調査票の作成件数	目標値	件							
		実績値		3,416.00	3,343.00	3,496.00	3,360.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値を算出する性質のものでないため設定していない / 送達簿							
	実績値の算出式									
活動指標 3	民刑事事項名簿の作成件数	目標値	件							
		実績値		188.00	217.00	192.00	196.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値を算出する性質のものでないため設定していない / 件数表							
	実績値の算出式									
成果指標 1	処理の誤りによる苦情件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00			
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		苦情がないことが適正なため目標値は0を設定している。 / 業務安定システム事務処理対応表							
	実績値の算出式									
活動指標 4	税務署への通知件数（令和5年度末廃止）	目標値	件							
		実績値		12.00	12.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和7年度の届出処理件数は6,012件で前年度と比較し、64件減少した。（前年度比1.1%減） 戸籍の届出、人口動態統計調査票、民刑事事項名簿について、必要な記録を適正に実施したことからA評価とする。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	処理誤りに対する苦情件数が0件であったことから、A評価とする。
			評価者 戸籍係長 浅見 英三香

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	令和6年3月から戸籍法及び戸籍法施行規則の一部改正に伴い、戸籍事務の取扱いが変わったことから、戸籍に関する事務の進め方を見直し、戸籍の記録に係る業務委託の縮減を図る等、効率的に事務事業を執行している。 また、令和7年5月から戸籍に振り仮名が記載されるようになり、振り仮名の通知の作業及び振り仮名の届出に対応することができた。
			評価者 戸籍係長 浅見 英三香